

## 平成 25 年度 鴨川市消防委員会 会議録

- 開催年月日 平成 26 年 2 月 6 日 (木)  
開始・終了時刻 午前 10 時 00 分から午前 11 時 10 分まで
- 開催場所 鴨川市役所 4 階400会議室
- 議長 鈴木康弘委員長
- 出席委員 鈴木康弘委員長 吉田維夫副委員長 長谷川清一委員  
石渡清実委員 東島康二委員 入野芳一委員 田代朗委員
- 欠席委員 礪貝芳弘委員
- 事務局の職氏名 消防防災課長 滝口悦夫、課長補佐 苅込彰男  
消防生活安全係長 渡辺慎太郎
- 会議次第
- 1 開会
  - 2 委員長挨拶
  - 3 市長挨拶
  - 4 議件
    - 第 1 号議案 平成 25 年度消防団事業実施状況について
    - 第 2 号議案 平成 25 年度消防関係決算見込について
    - 第 3 号議案 平成 26 年度消防団事業計画 (案) について
    - 第 4 号議案 平成 26 年度消防関係予算編成 (案) について
    - 第 5 号議案 その他
  - 5 その他
  - 6 閉会
- 配布資料
- ・ 会議次第
  - ・ 議案資料
  - ・ 消防救急デジタル受令機パンフレット
  - ・ 防災ラジオ説明資料
  - ・ 鴨川市防災計画(案)

◇司会（菊込）

皆様、こんにちは。本日は、ご多用のなか、ご出席いただきまして、ありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今から平成 25 年度鴨川市消防委員会を開催させていただきます。

本日、議員委員より欠席の報告がございましたが、本日は 7 名の委員の皆様のご出席をいただいておりますので、鴨川市消防条例第 17 条第 2 項に「委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない」と規定されておりますが、過半数の委員の皆様の出席をいただいておりますので、本会議は成立をいたします。まず、鈴木消防委員長からご挨拶をいただきます。

◇鈴木委員長

皆さん、こんにちは。本日はお忙しいなか、ご出席いただきありがとうございます。また、日頃より消防委員会を始め、消防団活動や市の消防防災行事等にご支援いただいておりますこと敬意を表します。

本日の議題は、第 1 号議案から第 5 号議案までありますので、皆様にご審議いただきまして、ご意見をいただきたく、どうぞよろしく願いいたします。

◇司会（菊込）

ありがとうございます。続きまして、長谷川市長からご挨拶を頂戴いたします。

◇市長

皆さん、こんにちは。市長の長谷川でございます。委員の皆様方におかれましては、公私共にご多用のなか、消防委員会にご出席を賜り、大変ご苦勞様でございます。

また、消防防災行政のみならず、本市行政に深いご理解、ご協力を賜っておりますこと、重ねて敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

本市の消防防災行政といたしましては、消防力の強化を図るため、防火水槽の新設や消防ポンプ自動車の更新、防災行政無線及び消防救急受令機のデジタル化の整備や、東日本大震災を教訓とし、市民の皆様が安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域防災計画の見直しや、自主防災組織の育成などを積極的に推進しておりますところでございますが、今後も更なる消防防災事業の取組みを進めて参る所存でございます。

委員の皆様方には、平成 26 年度も引き続き一層お力添えを願えればと考えております。

それでは、本日の議題につきまして、第 1 号議案から第 5 号議案までありますが、委員の皆様にご審議いただき、忌憚のないご意見をいただければと考えておりますので、どうぞよろしく願い申し上げます。

◇司会（菊込）

ありがとうございます。それでは、消防条例 17 条第 1 項の規定により、委員長が議長を務めることと規定されておりますので、鈴木委員長をお願いいたします。それでは、鈴木委員長よろしく願いいたします。

◇議長

議長を務めさせていただきます鈴木でございます。皆様のご協力をよろしく願いいたします。

本日の会議録の確認をしていただく委員を決めさせていただきたいと思いますが、私から指定させていただくということによろしいでしょうか。

～異議なしの声あり～

◇議長

それでは、会議録の確認については、東島康二委員を指定させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

それでは次第に基づきまして会議を進めさせていただきます。これより議事に入ります。

まず始めに、第1号議案、平成25年度消防団事業実施状況について及び第2号議案、平成25年度消防関係決算見込については関連がございますので、事務局から一括説明をお願いします。

◇事務局（渡辺）

それでは私から説明させていただきます。第1号議案、平成25年度消防団事業実施状況についてですが、資料の1枚目をご覧ください。この中で主だったものについてご説明いたします。まず4月21日ですが、幹部新入団員訓練を陸上競技場駐車場で普通救命講習会を文化体育館で行いました。幹部新入団員訓練では幹部団員96名、新入団員50名の参加をいただき、普通救命講習会には29名の参加をいただきました。

次に5月19日に第9回鴨川市消防操法大会を開催し、13車両が参加し、最優秀賞は第2支団第3分団が受賞いたしました。引き続き6月23日に館山市で開催されました安房支部消防操法大会では、第2支団第3分団が優勝し、7月27日に千葉市で行われました千葉県消防操法大会に出場いたしました。成績は9位でありましたが、2番員を務めました中澤団員が最優秀2番員となっております。

次に、10月20日に2回目の普通救命講習会を開催し、33名の参加をいただきました。

次に、11月10日に秋の全国火災予防運動の一環として防火パレードを実施し各支団ごとに消防車で主要道路を走行し啓発運動をいたしました。また同日、防災訓練を小湊小学校で開催予定でしたが、雨天により中止とし、防災学習会を実施いたしております。

次に、11月25日に消防団120周年・自治体消防65周年記念大会が東京ドームで開催され、鴨川市から25名の消防関係者が参加いたしました。

次に、1月6日には消防出初式を開催いたしました。ご承知のとおり、建物火災が発生し、予定しておりました川代神楽は中止し来年披露していただくことといたしました。

続きまして、第2号議案、平成25年度消防関係決算見込については資料の次のページをご覧ください。最初に、常備消防費ですが、当初予算627,343,000円に対しまして支出見込額614,330,000円、これは安房消防への負担金でございます。

次に、非常備消防費のうち、公用車費ですが40,435,000円の支出を見込んでおります。内訳としまして、消防車両2台の購入費が34,860,000円にして、第2支団第4分団、曾呂地区と第4支団第4分団、天津地区にそれぞれ配備予定です。また、消防団運営事業費として55,843,000円の内訳ですが、団員報酬として22,878,000円、活動手当が10,980,000円、交付金が2,740,000円でございます。

次に、消防施設費ですが、消防施設維持管理事業費として29,342,000円ですが、消防水利施設管理台帳電子化業務委託費が23,415,000円、これは消火栓や防火水槽の台帳を整理し、電子化管理し分団に配布する等考えております。なおこの業務につきましては、国の緊急雇用事業で実施しており、100パーセントの補助金をいただいております。また、消防用品購入事業費としまして20,315,000円、内訳ですが、安房消防の消防無線のデジタル化に伴い、デジタル受令機を消防車両に35台、本部役員に13台、市

役所庁舎に2台、合計50台購入いたしましたものが15,540,000円、その他は詰所の光熱水費や修繕費等でございます。また、防火水槽新設事業費が15,176,000円です。本年度は3基の防火水槽を建設中です。かねてから要望のありました3地区にそれぞれ建設中です。

最後に、災害対策費ですが、主だったものとして災害対策事業費といたしまして22,657,000円、内訳としまして、地域防災計画の委託費が11,235,000円、その他備蓄倉庫の備蓄品の購入や更新等でございます。また、防災行政無線維持管理事業費としまして91,413,000円、こちらは無線施設の修繕及び保守委託料、防災行政無線デジタル化改修工事等でございます。総合計で、895,603,000円の支出見込でございます。

第1号議案及び第2号議案につきましては以上でございます。

◇議長

ただ今、事務局から、第1号議案、平成25年度消防団事業実施状況について及び第2号議案、平成25年度消防関係決算見込について一括説明がありました。質疑・ご意見等ありましたら、よろしくお願いたします。

◇議長

質疑・ご意見もございませんので、原案どおり可決いたします。

◇議長

これより第3号議案平成26年度消防団事業計画案について及び第4号議案平成26年度消防関係予算編成案については関連がございますので、事務局から一括説明をお願いします。

◇事務局（渡辺）

それでは私から説明させていただきます。第3号議案、平成26年度消防団事業計画案についてですが、資料の3枚目をご覧ください。まず、現在決定している行事ですが、4月20日に幹部新入団員訓練と普通救命講習会を実施いたします。

次に、5月18日に第10回鴨川市消防操法大会を実施いたします。今年度は16車両が演技を行います。また、安房支部大会は6月22日、千葉県大会は7月26日で決定しております。

次に、10月に2回目の普通救命講習会を開催し、また、安房支部が主催します上級幹部研修に参加します。

続いて、11月には秋の全国火災予防運動に伴い、防火パレードを実施いたします。また、防災訓練を実施いたします。

続いて、12月から恒例の夜警を行います。2回に分けて、各分団の巡視を市長、議長に行っていただきます。

続いて、1月には恒例の出初め式を開催いたします。第3号議案につきましては以上のとおりです。

続きまして、第4号議案についてご説明いたします。資料の4枚目をご覧ください。左から4列目の平成26年度当初予算額について説明いたします。

最初に、常備消防費ですが627,343,000円、こちらは全額安房消防への負担金です。

次に、非常備消防費ですが、消防総務事務費が34,000円、こちらは消耗品等の予算でございます。公用車費が23,814,000円、こちらは消防車両の更新及び修繕、燃料代、車検や保険代等です。26年度は消防車両の更新は1台、第2支団第1分団2部、江見を予定しております。消防団運営事業費が57,430,000円、こちらは、団員報酬、手当、

交付金等でございます。また、消防委員運営事業費が49,000円、こちらは消防委員の皆様への報酬、費用弁償でございます。合計で83,101,000円で前年比14,888,000円の減となっております。

次に、消防施設費ですが、消防施設維持管理事業費として8,526,000円、こちらは分団詰所の修繕費や光熱水費等でございます。消防用品購入事業費として2,214,000円、こちらは消火栓の器具箱やホース等の購入費です。消火栓設置事業費として5,006,000円、こちらは水道局に委託して水道工事と併用して消火栓の新設や修繕等を行うものです。防火水槽新設事業費として5,500,000円、26年度は宮地区に新設の要望があります。この地区は昨年火災があった箇所、付近に水利がないことから設置するものです。合計で21,246,000円で前年比48,222,000円の減となっております。

最後に、災害対策費でございます。防災訓練事業費として155,000円、訓練で使う消耗品等でございます。給水車費として291,000円、給水車の燃料、車検、保険代等でございます。災害対策事業費として13,367,000円、備蓄品の購入及び更新の費用でございます。防災行政無線維持管理事業費として31,598,000円、無線施設の修繕及び保守点検委託、戸別受信機の購入費用でございます。合計で47,411,000円、前年比68,035,000円の減でございます。総計で779,101,000円、前年比118,132,000円の減となっております。以上で説明を終わります。

◇議長

ただ今、第3号議案、平成26年度消防団事業計画案について及び第4号議案、平成26年度消防関係予算編成案について一括説明がありました。質疑、ご意見等ありましたら、よろしくお願ひいたします。

◇長谷川委員

消防車が1台しか更新しないようですが、鴨川市は車両の数が多いので間に合うのですか。何年経ったら更新しているのですか、教えていただきたい。

◇事務局（渡辺）

現在車両の更新は20年を目途に実施しています。33車両ありますので、毎年2台もしくは1台の更新をしております。

◇議長

ほかに質疑等ございませんか。ないようですので、原案どおり可決いたします。

◇議長

次に、第5号議案、その他を議題とします。事務局より説明をお願いします。

◇事務局（渡辺）

資料5枚目をご覧ください。平成25年、26年の火災発生状況について記載してございます。平成25年は34件の火災が発生しました。26年についてはこれまで6件発生しております。平成24年は32件でしたので、2件の増加となっております。以上です。

◇議長

第5号議案について何か意見等ありますか。

◇吉田委員

最近、誤報がよくありますが、どんなことがあるのか説明していただきたい。

◇事務局（渡辺）

今の時期は、消防署に揚煙の届出が出ている農地の野焼きを火事だと勘違いして通報されるケースがほとんどです。

◇議長

ほかに何かございませんか。ないようですので、皆様のご協力のもと、第1号議案から第5号議案まで審議が終了いたしました。以上をもちまして、私の議長としての職務を解かさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

◇司会（苅込）

委員長ありがとうございました。続きまして、会議次第の5番目として、その他でございしますが、委員の皆様、何かございましたらお願いいたします。

◇長谷川委員

消防団員数が減っているということですが、第4支団第3分団は25人に縮小されてしまい、まだ続けられる人が辞めてしまった。消防団は消火活動だけでなく、地域のコミュニティにも重要な役割があるので、多ければ多いほど良いと思いますけど、欠員が出ている分団がたくさんあるというのなら定数を固定せずに、柔軟な対応をしていただきたい。

◇事務局（渡辺）

平成23年に条例改正をして、団員の定数を減らしておりますが、それまで分団で何名と決めていたものを支団で何名というようにさせていただきました。25名というのは当時決めた目安ですので、25名で固定したものではありません。

◇田代委員

地区にもよりますが、団員の確保が厳しい状況であり、今後は退団者を再入団させ、火事等の災害時のみ活動する機能別消防団員を作っていく方向で考えていますので、ご理解願いたいと思っております。

◇長谷川委員

団員の勧誘についても、地域の区長や町内会長を通して行ってもらえれば協力も得られるので、是非要請していただきたい。

◇事務局（苅込）

ほかに何かございますか。なければ事務局より3点ほどお知らせいたします。

◇事務局（滝口）

それでは私からお知らせします。1点目ですけれども、配布した資料のカラー刷りで受令機のチラシがあると思います。これが先ほどの事業説明の中でも言いましたが、購入したデジタル受令機でございます。現在、各消防車両に設置中でございます。2点目ですけれども、もう1枚のカラー刷りで防災情報配信の整備と記載されているものをご覧下さい。現在市内で使用しているアナログ式個別受信機を更新するため、防災ラジオ型個別受信機の購入を考えております。3点目ですけれども、今年度地域防災計画の改定作

業を進めておりますが、広報紙にも載せたのですが、広くパブリックコメントを募集しておりますので、消防委員の皆様にも是非ご意見をいただきたく、資料を用意しましたのでご覧になって下さい。以上です。

◇司会（苅込）

長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございました。以上をもちまして、平成 25 年度鴨川市消防委員会を閉会させていただきます。本日は、ご多用のなか、誠にありがとうございました。

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第 7 条第 3 項の規定により、会議録の確認をします。

平成 26 年 3 月 6 日

会議録署名人 \_\_\_\_\_ 氏名 東島 康二 \_\_\_\_\_